

平成 26 (2014) 年 5 月定例理事会議事録(案)

事務局 佐藤

日 時： 平成 26 (2014) 年 5 月 9 日(金) 13:00～15:45

場 所： 東京 港区芝大門 大門セミナー会議室

出席者 (敬称略)

理 事：山内会長，木口副会長，杉本副会長，麻生，井田，恵良，今西，入澤，鴨田，菅野，神戸，熊井，小林，里，佐藤，渋谷，白川，寺嶋，戸田，鳥越，西，橋本，原，平塚，矢島，山浦，
(出席数/理事総数 26/30)
(柴田理事代理 綾井)

委員長： 清水

監 事： 大澤，角田

その他： 公益総研 福島 CEO (議事 3.4 財務委員会報告時参加)

事務局： 佐藤，野口，細田

【議長】 山内会長

はじめに事務局から，今回の理事会出席理事は 26 名 (理事 30 名中) であり，定款第 30 条第 1 項に基づき成立していること，定款 31 条第 2 項により議事録署名人を会長，監事とすることを宣言した。

【定例議題】

1. 前回議事録 (平成 26 (2014) 年 3 月定例理事会) が異議なく承認された。
2. 財務に関する事項
 - 2.1 2014 (平成 26) 年 3 月 月次収支報告
鳥越財務委員長より報告があり，了承された。
収支の差が大きいが，3 月は特別会計繰入金 が 4,500 千円あったことによると報告された。
 - 2.2 2014 (平成 26) 年度累計及び対前年度比較累計収支報告
鳥越財務委員長より議事 3.4 の，2013 年度収支報告と重なるので，そこで報告する旨説明され，了承された。
 - 2.3 2014 (平成 26) 年 3 月の会員異動
白川庶務主査担当理事より報告があり，了承された。
2012 年度末に比較して，正会員 121 名，維持会員 9 件増加した旨報告された。
 - 2.4 2014 (平成 26) 年 3 月入会会員の承認
山内会長 (代 白川庶務主査担当理事) より説明があり，審議の結果，異議なく承認された。
 - 2.5 2014 (平成 26) 年度支部交付金の件
白川庶務主査担当理事より，2014 年度支部交付金について展開され，承認された。
会員増加等もあり，総額で昨年より 160.8 千円増額の，2,780,760 円になった。
3. 各種委員会に関する事項
 - 3.1 国際関係委員会報告
 - 3.1 1) WFC2016 組織委員会報告
木口組織委員長より昨日 5 月 8 日に開催した組織委員会の報告があった，
基調講演は，経産省及び早稲田大学名誉教授中江秀雄氏に，招待講演はフランスと中国に依頼した。
講演数は一般講演 150 件+キーノート講演 20 件程度を予定している。
工場見学は 8 コース各 40 名で計画する。
また今月スペインビルバオで開催される第 71 回世界鑄造会議 (WFC2014) に参加し，その結果を反映させたいと報告された。
今回は 6 月 20 日に名古屋で実行委員会を開催する。

3.1 2) WFC2016 募金委員会報告

白川理事より本日午前中(5月9日10:30～)開催された支部長会議と合同開催した第4回募金委員会の結果が報告された。

支部へ依頼する目標額について、本部扱いと支部扱いの企業(維持会員)等を明確に区分したので、本部扱い企業(維持会員)数を支部の維持会員数から引いて、再計算し、支部に依頼する金額を見直す旨決定した。本結果に基づき、新たな依頼金額を来週早々支部長に送付する、と報告された。

3.2 広報委員会報告

平塚委員長より、長期ビジョンロードマップ項目である「会員・非会員に対する広報活動の充実」の一環として、メーリングリストの登録を行い、設定した旨、報告された。4月以降、既にメールアドレスを登録している会員に対して「メルマガ鑄造工学」を発信開始している。

3.3 長期ビジョン委員会報告(第2期長期ビジョンロードマップ(案)確認の件)

白川庶務主査担当理事より、第164回全国講演大会で正式に展開する第2期長期ビジョンの目標及び戦略課題(ロードマップ)(案)が紹介され、審議の結果、異議なく承認された。

報告は、鑄造業界を取りまく環境から、このロードマップを作成するに至った背景等について詳しく触れられ、また今後進める活動に対するこれまでにやってきたトライアルの様子についても説明がなされ、わかりやすいものになっている。

会長から下記についてコメントをいただいた。

- 1) 戦略課題5についてはさらに進めてほしい。非会員に対し、鑄造をやっているにもかかわらず何故学会に入らないのか、HRG等にて深堀すること。
- 2) 海外の鑄造学協会の動向を定期的にフォローすることが必要である。

会長より5月31日に、第2期長期ビジョンを展開するにあたり、正式に製本したものにして配布するよう指示が出された。

また西編集委員長より、過去に行い成果のあった、個人会員はいるけど組織として維持会員になっていない企業に対して「鑄造工学」誌の無料送付を再開する旨報告された。

3.4 財務委員会報告

3.4 1) 2013(平成25)年度事業報告及び収支報告の件

杉本副会長から「2013(平成25)年度事業報告」が資料に沿って報告され、審議の結果異議なく承認された。特徴的な活動に対して説明が加えられた。

鳥越財務委員長から「2013(平成25)年度収支報告」が資料に沿って報告された。本部の正味財産増減計算書、同貸借対照表、財産目録、さらに本部と支部を合わせた学会全体としての正味財産増減計算書総括表、同貸借対照表、財産目録総括表さらに監査報告書について報告され、審議の結果異議なく承認された。

3.4 2) 「内閣府からの問い合わせの件」報告

事務局(佐藤)より、3月31日以来、内閣府担当者から平成23(2011)年度決算報告について問い合わせを受け、その後の対応状況と、現時点の問題点について本日配布した資料を含めて報告した。

本件に関して公益総研福島達也CEOから、鑄造工学会が公益法人になった時点前後からの内閣府の考え方の変化等について説明がなされた。

現時点では収支相償に反している公1と公3の余剰金の措置を早急に検討し、次回5月31日の理事会で承認、内閣府提出する必要があるとのこと。

3.5 企画委員会報告

橋本企画委員長より「Castings of the Year 賞」授賞作品の展示コーナーをスポンサー企業である新東工業株式会社豊川製作所内ショールームに開設した旨報告され、了承された。また今年度は現在募集中であるが、現時点で関東支部から1件の応募のみである。6月30日の締め切りまで、応募促進を依頼された。

4. 学会運営及び行事に関する事項

4.1 2014（平成26）年度年間スケジュールの件

事務局より、2014年度年間スケジュールが提案され、審議の結果一部補足（支部長会議等）することを含み異議なく承認された。なお追記したものを次回の理事会で再提案する。

4.2 第164回全国講演大会参加申し込み状況報告

事務局より、5月8日時点の申し込み状況を報告した。大会登録は646名、講演会611名、懇親会394名、工場見学127名、エクスカージョン19名、技術講習会118名と盛大な大会になりそうである。

5. その他の事項

5.1 「暑中見舞い」広告掲載勧誘のお願いの件

事務局より、「鑄造工学」誌86巻7号掲載予定の「暑中見舞い」広告掲載勧誘を依頼した。今年度は、消費税増税に伴い価格の見直しを行ったこと及び原稿締切期限は6月6日で依頼する件が報告され、異議なく承認された。

5.2 事務局2013（平成25）年度経費削減活動結果報告と2014年度目標

事務局より2013年度経費削減活動結果が目標の3,000千円に対して3,346千円達成した旨報告された。また2014年度は大きなイベントが無いので1,000千円の目標金額で活動する旨報告があり了承された。

5.3 次回理事会開催日の件

事務局より、山内会長に代わり次回理事会開催日の説明があり承認された。

【日時】2014（平成26）年5月31日（土）12:10～13:20

【場所】京都市勧業館（みやこめッセ）会議室

【補足】会長、監事2名が議事録署名人となる。

【当日配布資料】

- ・第2期長期ビジョン活動目標および戦略課題・・・A4 4頁（表裏）
- ・3.4 2）「内閣府からの問い合わせの件」報告（追加）・・・A4 1頁（表裏）

以上